

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	日本語第一		
英文授業科目名	Japanese Language I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-日本語・日本文化科目-日本語		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	志賀 幹郎・亀井 奈保美		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
shiga@fedu.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
大学での学業を進め、生活を充実させるために、日本語の運用力を高める。特に、講義を理解するための聴解力の養成、語彙の拡大、明瞭な発音の訓練を行う。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
月曜 = 学生が各自選んできた読み物 水曜 = 視聴覚生教材

<b>【授業内容とその進め方】</b>
月曜と水曜、一週間に2回日本語のクラスに出なければならない。月曜は、学生が各自選んだ読み物について、音読、語彙・文法のチェック、内容についての話し合いを行う。語彙・文法について毎時間クイズを行う。期末にテストを課す。水曜は、視聴覚生教材を用い、聴解能力を養いながら、語彙・文法の幅を広げる。期末に発表を行う。

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席 20% クイズ 20% テスト 20% 発表 20% 授業への取り組み 20% で評価する。遅刻・早退は2回で欠席1回とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜

### 【学生へのメッセージ】

日本語の力はまだ全然十分ではありません。慣れて覚えるのも一つの方法ですが、そうではなく、一つ一つ語彙や文法を確かめながら覚えていくことも重要です。努力と根性を見せてください。

### 【その他】